



## 病院機能評価の認定を受けました!!



認定証を手にする菊池認証取得推進室室長（左）と猪股病院長（右）

この度、熊大病院は、第三者評価機関である（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5.0を受審し、平成21年6月5日付けで認定されました。

### 病院機能評価って、何ですか？

病院機能評価とは、病院の現状や問題点などを明確にするために第三者評価機関（財）日本医療機能評価機構が中立的な立場から病院機能の評価を行い、機構の定める認定基準を満たした場合に、認定証が交付されるものです。

評価は、書類審査と訪問審査があり、昨年12月に行われた訪問審査では、事前に本院で実施した自己評価の達成度確認及び証拠書類の確認が行われた後、医療、看護、病院管理等の専門家の方々が実際に外来や病棟等の医療現場や事務室等を訪れ、様々な現場確認に基づく審査が行われました。

### どんなことを評価されたの？

評価は、「病院組織の運営と地域における役割」「患者の権利と安全確保の体制」「療養環境と患者サービス」「医療提供の組織と運営」「医療の質と安全のためのケアプロセス」「病院運営管理の合理性」「精神科に特有な病院機能」の7つの領域に渡って行われ、およそ600に及ぶ評価項目のチェックを受けました。

本院は受審にあたり、平成20年3月から菊池認証取得推進室室長を中心として、審査領域毎に分けた作業部会を設置し、医療、看護、病院管理等の問題点の改善などに全職員が一丸となって取り組み、今回無事に認定を受けることとなりました。

今後も「患者本位の医療の実践、臨床医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する」という理念に基づき、更なる医療の質の向上に努めてまいります。

## CONTENTS

病院機能評価認定 ..... P1

特集：猪股病院長就任 ..... P2

病院長挨拶

看護部長挨拶



副病院長挨拶 ..... P3

知っ得！納得！ ..... P4

検査カフェ  
Q&A



診療科・部門紹介 ..... P5

小児外科・移植外科

中央検査部

がん診療連携拠点病院 ..... P6

がんセンター

がん相談支援室のススメ



看護部だより ..... P7



肝疾患診療連携拠点病院

肝疾患相談室

掲示板 ..... P8



## TAKE FREE

熊大病院  
広報誌



お知らせ

### 病院敷地内全面禁煙



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# 特集：平成21年4月1日 猪股病院長が就任されました。

◎ 平成21年4月1日、倉津前病院長の後任として、小児外科・移植外科の猪股教授が病院長に就任されました。また、新たに4名の副病院長も就任されています。この春、新たな体制でスタートした熊大病院を今後ともよろしく願います。

## 病院長挨拶

若葉が緑に変わる季節ですが、本院も新しい職員をたくさん迎え、新生の息吹に満ちています。私も4月からの新米病院長です。よろしく御願いたします。

法人化して厳しい経営の中ですが、熊大病院では病院再開発が継続中で、病棟新営の仕上げとなる東病棟がすでにその外観をみせており、平成22年9月から使われはじめることになっています。周産期医療の充実など、国の施策に沿って求められる医療の基盤も作りながら、本院理念のひとつ「患者本位の医療」の実践をめざし、すでにある西病棟とフロアを一体化し、病気や対象臓器を主体とした「センター」化構想も実現していく予定です。

熊大病院は、がん診療の他、肝疾患、認知症、脳卒中、

## 猪股 裕紀洋



エイズなどの病気に対する地域医療機関の拠点として、県や中九州地域で先導的な役割を果たしていくことが求められ、すでに実践してきました。これからも、先進医療を推進しつつ、医師の研修や救急医療などを通しての地域医療の発展維持にも具体的に関わっていきたいと思います。すべての職員が心と知識と技術を磨き、患者さまがいつでもほっと安堵できる大学病院を目指し、地域医療機関のご協力をいただきながらいっそう努力してまいりますのでよろしく御願いたします。

## 看護部長挨拶

看護部は、23の病棟と、外来、手術部、放射線部、検査部門、地域医療連携センター、がんセンター、治験支援センター、管理部門など院内ほとんどの部署に看護師・助産師を700人配置し、患者やご家族の皆様にとって一番身近な援助者としての役割を担っています。

看護部職員の役割は、高度な医療を支えるために安全で正しい知識や技術を習得し、患者や家族の皆様温かい思いやりのある看護ケアを提供することにあります。さらに、今年度からの看護部関連の新しい取り組みは、①助産師外来の開設、②専門看護師や認定看護師への相談機能を持つケアサポート室の開設、③看護教育支援室の人員増によるより実践に則した人材育成充実の3つです。

今年度もより質の高い看護を目指し、目標管理やクリニカルラダーシステム（段階的到達目標・能力評価制度）を駆使し、専門職として自己研鑽に励み

## 右田 香魚子



臨床実践能力向上やキャリアを積み上げる努力をしています。

### 教育理念

特定機能病院として高度な先進医療に対応した専門的な看護と患者の満足と安心を提供できる看護者を育成する

### 教育方針

1. クリニカルラダーを用いて看護実践能力を高める。
2. クリニカルラダーを用いてキャリア開発を支援する。
3. 患者の自立を支援できる看護者を育成する。



## 副病院長挨拶

(医療安全管理及び危機管理に関する事項担当)

心臓血管外科 教授 **川筋 道雄**



猪股病院長のもとに、医療安全担当の副病院長に任命されました。三年前に倉津前病院長のもとで医療安全担当の副病院長を務めましたので、その経験を活かして、熊本病院の医療安全推進のために微力ながら尽くしたいと思います。医療安全管理部の目標を①チームで実践する質の高い医療、②患者と医療者が満足できる医療、としました。以前の経験から、医療安全を基本として医療の質を総合的に高めることが必要と感じています。そのためには、個人の努力とともにチーム医療が大切です。また、医療崩壊の一因にもなっている行き過ぎた患者中心主義から、患者と医療者が手を取り合い共に満足できる医療へ向うのが本来の姿と考えます。熊本病院の皆さんのご協力をお願いします。

(診療活動及び経営に関する事項担当)

代謝・内分泌内科 教授 **荒木 栄一**



この度、猪股病院長の御指名を受け、診療・経営担当の副病院長に就任しました。病院長が掲げておられます、『安心、安全、満足できる高度な医療の提供』と『病院職員がこぞって希望を持ち働ける、明るい病院経営・運営』の達成のために、微力ながらも全力を尽くしていきたいと思います。熊本大学の独立法人化以降、病院の経営は厳しさを増すばかりですが、病院の職員の皆様全員に御協力をいただき、皆様の御意見を伺いながら、患者さまの視点に立った医療の提供と働き甲斐のある楽しい職場作りの実現に努力していきたいと思います。母校のために貢献できますことを嬉しく思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

(先端医療活動及び先端医療研究に関する事項担当)

眼科 教授 **谷原 秀信**



今春より、猪股病院長の御指示を受け、副病院長に就任致しました。先端医療担当ではありますが、実際的には、先端医療の審査や推進に加えて、情報公開や広報、ボランティア活動、男女共同参画や病院評価まで、様々な業務を担当しております。副病院長になって、いろいろな委員会に参加して、議論を聞いていると、一診療科長としてみていた病院の姿とは別に、いろいろな仕組みや物事の流れが全体像として理解できるので、とても勉強になります。大学病院が抱える経営面での厳しい現状を踏まえながらも、職員の皆様が、楽しい雰囲気医療に携わるためには、病院長を中心として、各診療科・部門が一致団結するとともに、フェアで効率の良い病院運営が大事だと思います。その意味からも、副病院長としての職務に、真摯に取り組みたいと思っています。職員の皆様には、いろいろとご協力、ご支援を賜る機会も今後増えるかと思いますが、よろしくご協力申し上げます。

(病院における医療教育及び研修に関する事項担当)

婦人科 教授 **片渕 秀隆**



この度、医療教育・研修担当の副病院長に就任致しました。3年間務めて参りました地域医療連携センター長に加え、総合臨床研修センター長と地域医療支援センター長も併任致します。母校である熊本大学に奉職し、これまでは産婦人科一筋でございましたが、将来の本院を担う人材育成を念頭に置いた若い医療従事者の教育、そして本院のさらなるステップアップを目指した全職員の研修という極めて重要な領域の責任を負う立場になり、身の引き締まる思いです。

前任の興梠博次教授が着実に積み上げられた実績と現場にある素晴らしい遺産を礎にして、猪股裕紀洋病院長が掲げられる「明るく前進する大学病院」の推進に寄与すべく今後の運営にあたって参る所存です。本院職員の皆様の厚いご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



# 検査カフェ ってな~に?



- たとえば・・・
- ◆健康が気になる方……¥1,900
  - ◆血糖値が気になる方……¥800
  - ◆コレステロールが気になる方……¥600
  - ◆痛風が気になる方……¥500
  - ◆貧血が気になる方……¥1,300
  - ◆お酒の飲み過ぎが気になる方……¥1,200
  - ◆スギ花粉症が気になる方……¥1,300
  - ◆前立腺が気になる方……¥1,600
  - ◆肝障害が気になる方……¥2,800

NHKのニュースやズームイン!!SUPER、テレビタミで取り上げられました。

Q

検査カフェってどんなものですか？

## 検査カフェ

A

カフェでコーヒーを飲むような感覚で、気軽に検査部にお越しいただき、採血し、検査結果の異常をスクリーニングするために新たに開設したシステムです。糖尿病、肝障害、腎機能、メタボリック症候群、痛風、貧血、スギ花粉症、炎症、前立腺や甲状腺の障害、更年期障害などをスクリーニングするための項目を用意し、簡単な手続きの後、自動販売機で券を購入し、採血するとすべてが終了です。ただ、血液検査のデータだけでは不十分な場合も少なくないため、検査専門医と技師とで厳格な判定会議を開き、検査データを審議し、検査結果と共に検査の意味を添え、一週間以内にご本人に郵送しております。当検査部は臨床検査の国際基準であるISO15189を取得しておりますので、検査データの精度に関しては特にしっかりしております。

Q

どんな利点があるのですか？

A

検診のように時間を取らず、短時間に券の購入から採血までを終わることができます（約15分間）。また検診のようにあらかじめセットされた検査項目をこなすのではなく、自分が必要と思われる検査を選択することができます。

Q

実際に検査してもらうためには、どんな手続きが必要ですか？

A

熊大病院 中央診療棟3階の生理検査室前に自動販売機が置いてありますので、そこまでお越しいただき、券を購入していただければ、あとはすべて手はずは整っております。

Q

料金は高くないですか？

A

保険診療で検査するときの金額と同等か、それ以下に設定しております。また大学病院を受診するときのように、初診料を払う必要はありませんので、通常の診療科受診時より、かなり割安となります。

Q

どんな注意点がありますか？

A

検査は当然のことながら、すべての病気をスクリーニングするものではありませんし、その時点のデータのみを示しております。したがって検査値が正常だからと言って、全くの健康体であるわけではありません。

## 【お問い合わせ】☎

熊大病院中央検査部  
生理機能検査室

電話 096(373)5694

受付時間：月曜～金曜

10:00～16:00

お問い合わせは、受付時間内  
お願いいたします。



当科では、胆道閉鎖症に代表される肝胆道疾患や神経芽腫などの悪性腫瘍を中心とした小児外科診療と生体肝移植という臓器移植医療を、全く同じスタッフで行っています。小児外科領域においては、近年、NICUの拡充に伴い、新生児外科疾患も増加しつつあり、小児科の先生方との密な連携の下に診療にあたっています。また、熊本市市民病院や熊本赤十字病院といった関連病院の小児外科との深い協力関係を保ち



つつ、熊本における小児外科医療の充実化と若手小児外科医の育成に努めています。

移植医療については、これまで240例

余りの生体肝移植術を施行しており、ここ数年は年間約35例前後の一定した症例数を保っています。この年間症例数は、京都大学について、国内のトップクラスとなっています。肝移植症例の約3分の2が成人症例、3分の1が18歳未満の小児症例ですが、1歳未満の乳児の肝移植も積極的に進んでおり、

全国有数の小児肝移植の専門施設としても評価されています。生体肝移植では、臓器を提供するドナー、臓器を受け取るレシピエントを同時に手術しますが、レシピエント手術は通常12時間前後の長い手術となります。2つの手術に加えて、摘出臓器の管理（バックテーブル）という作業も加わるため、1回の移植手術に最低10人程度の人員が必要となります。臨床のスタッフでは人手が不足し、毎回大学院生の手助けを受けながら肝移植手術をこなしているのが現状です。

時には、成人、小児を問わず、劇症肝不全という病気で肝性脳症から意識障害を来して、緊急搬送される患者様もおられます。一刻を争う場合には、到着して半日足らずで、緊急移植手術を始めるといったこともあります。全く意識がなかった患者様が、肝移植後には、意識も戻り、元気に回復される姿を見ると、今更ながら、肝移植という医療の凄さに感動するものです。



## 中央検査部

中央検査部は、中央診療棟3階にある検体検査、微生物・遺伝子検査、生理機能検査と外来棟1階にある外来検査・中央採血室の4つの部門から成り立っております。検体検査では生化学・免疫・血液形態・血液凝固・輸血の各検査を行っており、中央診療棟へ移転した時期に導入した総合検査システムが稼働しています。24時間年中無休の検査体制もこの部門で行っており、救急医療体制への支援もしております。微生物・遺伝子検査では種々の感染症に対する検査のみならず、院内感染対策へも積極的に取組



んでおります。また、アミロイドーシスなどの遺伝性疾患の遺伝子検査、ウィルスに関する遺伝子検査な



どの先進医療へも取り組んでおり、特定機能病院としての機能維持と新たな検査法の開発に努めています。



生理機能検査では心臓・肺・神経に関する検査を行っており、心臓エコーや血管エコー検査の充実を目指しております。

外来検査では主に尿検査を実施しており、中央採血室は今年2月にリニューアルし、外来患者様へのサービス向上を行っております。当検査部は国際規格であるISO15189の認定検査室でもあり、高品質の検査データを的確に提供できる体制を持ち、地域の中核病院としての機能を向上させるよう努力しております。



# がん診療連携拠点病院

この度、猪股病院長のご指名により、平成21年5月1日から熊大病院のがんセンター長を拝命いたしました。

がんセンター長  
岩瀬 弘敬



本院は平成18年に都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け、それと同時に「がん診療センター」を発足させ、佐々木がん診療センター長を中心に熊本県のがん診療連携拠点病院としての活動を行ってまいりました。

今般、平成22年3月に都道府県がん診療連携拠点病院の指定が更新されることになり、本院は厚生労働省の定めた新たな指定要件をそれまでに満たしておく必要があります。この指定要件には、化学療法の専任医師の確保、カンサーボードの設置と定期的開催、緩和ケアの充実、がん登録事業の推進、がん診療の連携協力体制や相談支援の提供体制の整備等があり、このような背景の中、本院では臓器横断的がん診療組織に関して改編が求められました。

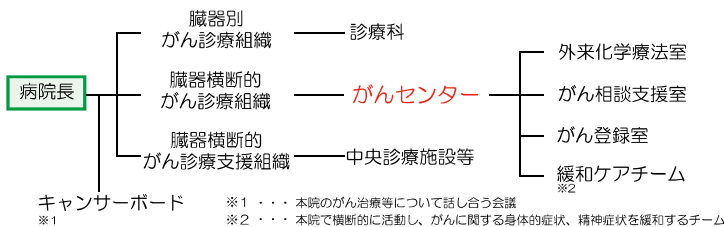
これを受けて、がん診療の包括的な拠点として、従来の「がん診療センター」と「外来化学療法センター」を「がんセンター」として改組し、併せて「外来化学療法室」を設置する等、がん診療連携拠点病院としての更なる機能強化のために組織の見直しを行い、平成21年5月1日からスタートいたしました。なお、改編前のがん診療センター長であった佐々木先生には外来化学療法室長として、より化学療法に特化した専任医師としてご活躍いただくこととなりました。むろん

## 「がんセンター」が設置されました。

診療そのものについては各臓器別あるいは診療科別の単位が中心となるのですが、腫瘍内科を診療科として持たない本院では、臓器横断的な化学療法、緩和ケア、がん相談支援室、がん登録室などが「がんセンター」の役割ということになります。また、熊本県がん診療連携協議会においても部会の再編成を行い、化学療法部会の部会長を血液内科の麻生准教授、がん診断部会の部会長を画像診断・治療科の山下教授、副部会長を病理部長の猪山准教授、放射線治療部会の部会長を放射線治療科の大屋教授、相談支援・情報連携部会の部会長を婦人科の片淵教授、緩和ケア部会の部会長を麻酔科の山本教授、がん登録部会の部会長を医療情報経営企画部の宇宿教授などの諸先生方をお願いすることになりました。

来年度からのがん診療連携拠点病院の指定要件を満たすためには、医師、コメディカルを含めた医療者だけではなく、事務部とも一体となって協力し、足りない点を克服していかなければなりません。より高いレベルのがん診療を目指すことにより、患者さまのためになる医療が広く提供できるものと考えます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 熊本大学医学部附属病院



## がん相談支援室のススメ

本院のがん相談支援室は、がん診療連携拠点病院の相談窓口として、平成19年4月に設置されました。

がんに関する相談・情報提供を行っている窓口です。

### 主な相談内容

たとえば・

- ◆ がんのことや治療について知りたい
- ◆ 今後の療養や生活のことが心配
- ◆ ホスピスや緩和医療について知りたい
- ◆ セカンドオピニオンを受けたいがどうしたらよいか



がんを抱えながら生活している患者さまに、その人らしく過ごしていただけるようお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

### ● お問い合わせ先

#### がん相談支援室

相談受付日時：月～金曜日（祝祭日除く）  
8：30～17：15  
連絡先：096-373-5676

### 恵和会イベント

財団法人恵和会の助成により開催されている院内のイベント等をご紹介します。

#### 五月人形の展示

平成21年4月3日から5月末まで、外来ロビーと中央診療棟エントランスホールに五月人形を展示しました。これは患者様やご来院の方の癒し

のために今年から始めたもので、来年以降も同じ時期に設置する予定です。



#### 七夕飾り

平成21年6月30日から7月7日の期間、院内で七夕飾りを行いました。外来ロビーや各病棟に設置された笹竹には、患者様やご家族の方等の願い事が書かれた短冊や華やかな飾り付けが施され、訪れた人の目を楽しませていました。





今年も看護部では、75人の新規採用の看護師を迎えました。



病院を取り巻く現状は、医療の高度化・複雑化に伴い、医療安全の確立、多重業務への対応、質の向上など、社会が求める医療のレベルが高まってきており、看護師に求められる知識・技術・態度、そして責任は増大してきています。特に本院は、特定機能病院であり、高度な先進医療に対応できる、より専門的な看護者の育成を望まれています。

そのために新規採用者対象に医療安全に対する教育を強化した「注射と薬プロセス」研修を行っています。また、新卒看護師の看護実践能力向上の第一歩として4月に総合臨床研修センター施設を利用して、基本的日常生活援助技術研修を行いました。今年で2年目になります。新卒看護師は、配属された部署の先輩看護師から指導を受けながら研修を行いました。

内容は、「寝たきりで、動けず、点滴注射が必要な

患者様に対して安全で安楽なケアの実施」でした。模擬患者を使った研修ではありましたが、受講者は、マニュアルを片手に真剣に取り組んでいました。写真はその様子です。



本院の院内教育の意図的・体系的な「教育プログラム」は、看護師のキャリア開発を支援できるように集合教育と部署での指導を連動させた教育をモットーに看護師が職場に適応し、自立した看護職として成長発展させる目的で行っています。

研修会は、基礎研修、シミュレーショントレーニング、ラダー（段階）別研修、管理研修、研究会・講演会・報告会、自主研修に分かれ、年間70種類以上の研修を企画運営しています。

未来の素晴らしい看護師が育っていきますようにより良い教育環境を整えて支援していきたいと考えております。



## 熊本県肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。～「肝疾患相談室」がスタート!～

平成21年5月13日、熊大病院は、都道府県に原則一ヶ所選定される「肝疾患診療連携拠点病院」に指定されました。

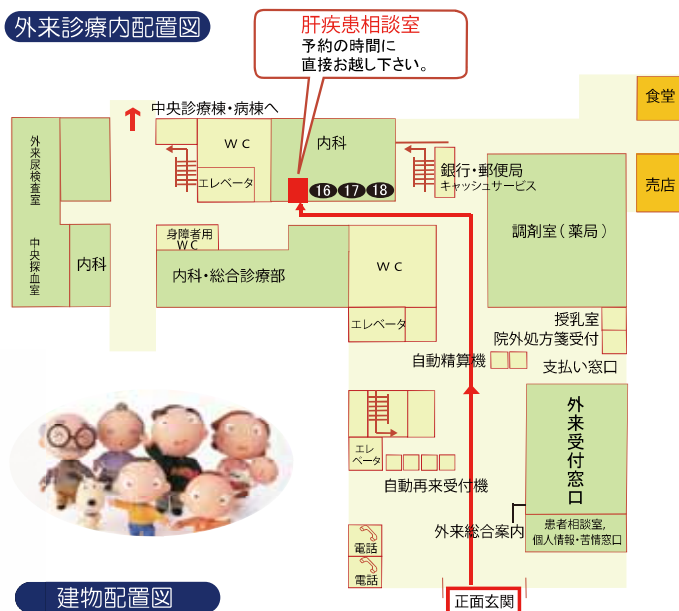
今後、「肝疾患診療連携拠点病院」として、県内の肝疾患診療の向上を図るため、地域の専門医療機関と連携し、診療体制の構築を進めていきます。

また、患者様や家族の方の不安や疑問に答えるため、「肝疾患相談室」を5月18日から開設しました。下記のとおり、本院の専門医がご相談に応じています。

なお、相談は予約制ですので、まずお電話で予約してください。料金は無料となっております。

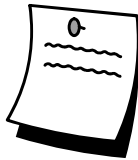
相談内容	肝疾患全般に関する相談
相談日時	月・火・木・金（祝日・年末年始を除く） 15:00～17:00 ※事前に電話によるご予約が必要です。 お1人様あたり30分程度
相談の予約受付	月～金 10:00～16:00 電話：096-372-1371
相談場所	熊本市本荘1丁目1番1号 熊本大学附属病院 外来診療棟1階 「肝疾患相談室」

### 肝疾患相談室 案内図



### 建物配置図





外来診療日 (各診療科の◎印は「初診」「再診」を行っています。)

平成 21 年 4 月 1 日現在

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療部	◎	◎	◎	◎	◎
呼吸器内科	◎	◎	◎	初診のみ	◎
消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎
血液内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
膠原病内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
腎臓内科	◎	◎	◎	◎	◎
代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎
神経内科	◎	◎	◎	◎	◎
心臓血管外科		◎		◎	
呼吸器外科		◎		◎	
消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎
乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎		◎
小児外科	◎		◎	◎	◎
移植外科	◎		◎	◎	◎
泌尿器科		◎		◎	◎
婦人科	◎	不妊外来	◎	不妊外来	◎
小児科	◎		◎		◎
発達小児科		◎		◎	
産科	◎	不妊外来 生殖医療 カウンセリング	◎	不妊外来	◎
リハビリテーション部		◎		◎	◎
整形外科		◎		◎	◎
皮膚科	◎		◎	◎	◎
形成・再建科			◎	◎	
眼科	◎	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎		◎		◎
歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎
画像診断・治療科	◎		◎		◎
放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎
こころの診療科		◎ (要予約)	◎ 再診のみ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)
神経精神科		◎ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)
脳神経外科	◎		◎		◎
麻酔科	◎		◎		◎

熊大病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から承認されています。地域医療機関との分業を行うため、原則としてかかりつけ医（他の医療機関）の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初回および再初診の際に「保険外併用療養費（選定療養）」として3,150円（自費、平成21年3月現在）をご負担いただきます。

## 入院案内DVDが出来ました!



この度、外来担当副看護師長会議のメンバーは、看護部の理念である「質の高い看護」を目指して、入院案内DVDを作成しました。

多くの患者さまは、入院が決まると、病気のことで頭が一杯になり、入院時の説明を聞く余裕がありません。後から、入院生活に対する不安が湧いてくるとの声をよく耳にします。

そのような不安を少しでも軽減できればと、P S(患者満足)の視点で、入院の準備から、入院生活、退院に至るまでのプロセスを医事課の協力によりDVDに納めることができました。4月27日からご希望の患者様へは、DVDの貸し出しや、外来での視聴ができるようになりましたので、ご利用ください。

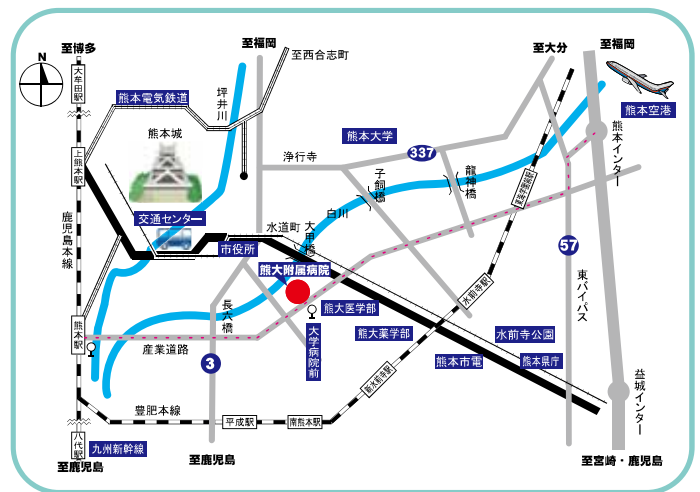
## Q & A

ここでは皆様の病院に関するご質問にお答します。

**Q. 熊大病院には、ATMはありますか?**

**A. ATMは、外来診療棟1階（外来受付奥）と第6病棟1階の2箇所に設置しております。医療費をお支払いになる際や売店でお買い物をする際等にご利用ください。**

なお、外来診療棟には、ゆうちょ銀行と肥後銀行の2台のATMを設置しております。  
(第6病棟は肥後銀行の1台のみ)



熊本大学医学部附属病院

〒860-8556

熊本市本荘1丁目1番1号

TEL (096) 344-2111 (代)

FAX (096) 373-5906

<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp>